

年 間 授 業 計 画

科目名		ビジネス基礎		単位数	3単位	学年・学科	1学年 全学科	展開	必修
教科書番号		商業 701（実教出版）				副教材名	全商ビジネス計算実務検定演習2・3級（実教出版）		
教科書名		ビジネス基礎					全商ビジネス計算実務検定模擬問題集1級（実教出版）		
科目の目標		ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員として望ましい心構えを身につけさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。							
学習内容と進め方		①商業の学習とビジネス ②ビジネスとコミュニケーション ③ビジネスと売買取引 ④ビジネス計算 ⑤経済と流通の基礎 ⑥さまざまなビジネス ⑦企業活動の基礎の7項目で商業教育全般の導入として基礎的な内容を取り扱う。 インターンシップの学習を行う。							
学習の留意点		①商業を学ぶ目的と学び方、商業の学習分野について取り扱い、商業の学習ガイダンスを行い、生徒の学習の動機付けを行う。 ②ビジネスに関する基礎的な知識や技術を習得させる。 ③ビジネスの諸活動に適切に対応する能力や態度を身につける。							
月	単元		予定 時数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）	
					1	2	3		
4	第1章 商業の学習とビジネス 1 いざ、ビジネスの世界へ 2 私たちの社会とビジネス		8	※電卓の操作を含む 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について学ぶ。 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について考える。 ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	○				・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解している。 ・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
5	第2章 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用		9	ビジネスにおける信頼関係構築について理解し、関連する技術を学ぶ。 ビジネスにおいて他者への対応及び情報を入手して活用し評価・改善することについて考える。 ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。	○				・ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入手して活用し、評価・改善することを考えている。 ・ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
6 7	第6章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済		12 10	売買取引、代金決済といった実務における取引について学ぶ。 取引に関する課題を発見し、その課題への対応策を考える。 契約と履行について、組織の一員としての役割を果たすことができるように主体的かつ協働的に取り組む。	○				・売買取引、代金決済といった実務における取引について理解している。 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
8 9 10	第7章 ビジネス計算 1 ビジネス計算の基礎 2 ビジネス計算の応用		12 12	ビジネス計算に関する技術を身に付ける。 ビジネス計算について、主体的かつ協働的に取り組む。	○				・ビジネス計算について実務に即して理解している。また、関連する技術を身に付けている。 ・ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
11	第3章 経済と流通の基礎 1 経済の仕組みとビジネス 2 経済活動と流通		12	経済の仕組みと流通の必要性について学ぶ。 経済と流通に関する課題を発見し、その解決方法を考える。 経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える組織の一員として主体的かつ協働的に取り組む。	○				・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。
12 1	第4章 さまざまなビジネス 1 ビジネスの種類 2 小売業 3 卸売業 4 物流業 5 金融業 6 情報通信業		9 8	さまざまなビジネスについて学ぶ。 さまざまなビジネスに関する課題を発見し、その解決方法を考える。 さまざまな流通について自ら学び、流通と流通を支える活動を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	○				・さまざまなビジネスについて経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・さまざまなビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・さまざまな流通について自ら学び、流通と流通を支える活動に組織の一員としての役割を果たす力を身に付けるために、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
2 3	第5章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用		9 4	企業の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に関する知識を学ぶ。 企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。 企業活動について主体的かつ協働的に取り組む。	○				・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法		(1) 評価の観点については下記の表の通りとする。 (2) 具体的には定期考査、小テストの成績、プリントなどの演習・提出状況、学習活動への参加の仕方や態度などから評価する。							
評価の観点		観点	趣旨						
		1 知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技能を身に付けている。						
		2 思考・判断・表現	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してより良く理解することについて考えている。						
		3 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。						
評価基準		1 知識・技能	A ビジネスの概要、心構えについて実務に即して理解するとともに、関連する技術が身に付いている。 B ビジネスの概要、心構えについて実務に即して理解するとともに、関連する技術が概ね身に付いている。 C ビジネスの概要、心構えについて実務に即して理解していない。						
		2 思考・判断・表現	A ビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考察することができる。 B ビジネスに関する課題を発見し、課題への対応策を考察することができる。 C ビジネスに関する課題を発見し、課題への対応策を考察することができない。						
		3 主体的に学習に取り組む態度	A ビジネスに関する事項について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 B ビジネスに関する事項について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 C ビジネスに関する事項について、主体的かつ協働的に取り組む努力が必要である。						